



豊けき耕士

校訓
誇り
夢
前進

常に正しきを求めて 向上的態度を持とう (古川学人 吉野作造博士 古川餘影より)

大崎市立古川中学校 〒989-6152 大崎市古川二ノ構7番54号 TEL 0229-22-0236
ホームページ <http://www2.educ.osaki.miyagi.jp/furukawa-c/1index.html>



1 学期終了

4月に新年度がスタートしてから102日間の学校生活を経て、本日1学期終業式を無事に迎えることができました。保護者や地域の皆様には、様々な場面で御理解と御協力をいただきました。本当にありがとうございました。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



校長式辞

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と表現されるほどの猛暑続きの夏でしたが、今週辺りからようやく秋の気配が感じられるようになりました。本日、102日間の授業を終え、1学期の終業式を、このように全校生徒が一堂に会する形で迎えることができ、とても感慨深く思っています。

今年度は、何をするにつけても、「3年ぶりに開催することができた」とか「4年ぶりに行うことができた」といった言葉をよく聞いたと思います。ということは、上級生であっても、中学校で初めて経験する場面がたくさんあったはずです。それでも皆さんは、そのハンディをものともせず「挑戦」し、多くのことを吸収して、たくさんの「輝き」を見せてくれました。

また、古中生の底力を感じたのが、部活動やクラブチームでの活躍でした。運動部も文化部も、本当に一生懸命に取り組み、上位入賞、上位大会への出場といった素晴らしい成績を収めた部もたくさんありました。その外にも各種弁論、暗唱大会で優れた発表を披露したり、美術作品展で入選したりするなどの個人の活躍も多く見られました。孤独と闘いながら1人で地道に練習を重ねたり、仲間と励まし合ったりしながら、本気で目標に向かうその過程から、大きな達成感と古中生としての誇りと自信をつかむことができたことと思います。

さて、今年の7月24日に「みやぎ小中学生いじめ問題を考えるフォーラム」が開催され、本校を代表して志田生徒会長が出席しました。そこで、参加者の児童生徒の皆さんが、いじめのない「明日も行きたい」と思える学校をつくりたいという強い思いを込めて「いじめ防止メッセージ」なるものを作成しました。

そのメッセージが届き、私の眼に最初に止まったのは「みんな違ってみんないい」という言葉でした。「みんな違ってみんないい」どこかで聞いたことのある人もいられるかもしれません。

生徒数638もの大規模校である本校において、私は、「みんな違ってみんないい」という精神は、とても大切なことだと思っています。誰一人として同じ人間はいない、一人一人には個性があり、それが互いに認められ尊重されることは、安心して学べる学校の大前提だと思っています。安心して学べるからこそ、人は力を発揮し、成長することができる。私は、そのような古中に是非したいと考えています。そして、その皆さんの頑張りを先生たち全員で支えていきたいと思っています。その際、何か相談したいことなどあれば、遠慮なく先生たちに伝えてほしいと思います。

終わりになりますが、この後、担任の先生から通知表が渡されます。事前に目を通しましたが、先生たちは皆さん一人一人をよく見ているなど感心させられました。毎日の学習や係活動、掃除などへの取組、仲間とのやり取りからの心温まる場面、生徒の思いをしっかりと受け止め、励ましている言葉も見られました。改めて、そういった仲間や先生たちとの日々の積み重ね、102日間の

歩みは、かけがえのないものだと感じました。皆さんの頑張りに拍手を送るとともに、先生方の指導に、改めて感謝したいと思います。

結びに、明日からの4日間の短い秋休みではありますが、2学期に向けて期待を膨らますことのできる有意義な機会となることを願って、1学期終業式に当たっての式辞といたします。

令和5年10月6日 大崎市立古川中学校 校長 佐々木 晃

「1学期を終えて」 生徒代表のこぼ

3学年代表 S・S さん

私は1学期を通してたくさんのことを学ぶことができました。修学旅行では班別自主研修で公共のマナーを知り、仲間とともに行動することで、仲間の大切さを実感することができました。誰かが困っていたり、悩んでいたりしたら手を差し伸べ、協力することでともに成長することができました。体育祭では、あらためて仲間がいる心強さや仲間とともに協力するすばらしさを感じるすることができました。勝っても負けても互いの健闘を讃え合う姿に感動しました。最後の体育祭が思い出深いものになって良かったです。

さらにまちづくり学習では、1学期から本格的に活動が始まり、各班で計画を立て協力して活動することができました。この活動を通して、地域に貢献することや地域の人々との協力、つながりの大切さを学びました。今回学んだことを、今後に活かしていきたいです。

最後に学習についてです。学習面では、試験に向けての取組や授業中の教え合いがよくてきていたと思います。1学期が終わると、本格的に自分の進路を見据え、学習に力を入れる時期となります。2学期には、三者面談で自分の進路を決定しなければなりません。自分で納得のいく成績を収められるよう、しっかり計画を立てて学習に集中して取り組みたいと思います。



2学年代表 M・A さん

2年生になって、初めてのクラス替え、初めてできた後輩、初めて関わる友達など、初めてのことが多かった1学期も本日で終了となりました。1学期の2年生の活動を振り返って、反省と今後の抱負を発表します。

まず、学習面についてです。良かった点は、4月は3分前着席が守れていませんでしたが、学年委員を中心に日頃から声掛けをしたことで、3分前着席をして授業の準備をする人が増えたということです。その一方で、授業中に立ち歩いたり、私語があったりして授業態度が悪かったところや、ワークや作品を提出しない人が多かったところは、今後の課題です。

次に、生活面についてです。中学校に入って初めてのクラス替えで緊張している人もいましたが、学校生活を送っていく中で、徐々にクラス内でのコミュニケーションを大切にする雰囲気が出てきました。しかし、休み時間に大人数で通路をふさいでしまっていたり、ふざけてけんかになってしまっていたりと、落ち着きがない様子もありました。

次に、行事への取組についてです。1学期は、体育祭の学年種目で騎馬戦をしたり、職場体験学習をしたりと、新しいことに挑戦する学期だったと思います。体育祭ではクラスの団結力を高めることができました。また、職場体験学習では、普段の学校生活では学べないような、時間を厳守することや責任感についてなど、たくさんことを学ぶことができました。この1学期で成長できたところは引き続き継続し、悪かったところはしっかりと改善できるように頑張っていきたいです。また、3年生になる準備をこの2学期にしていきたいと思います。まずは、今月末に行われる総合的な学習の学年発表会に向けて、クラスがまとまり、落ち着いて普段の生活を送れるように心掛けたいと思います。

2学期から生徒会役員も入れ替わり、これまで生徒会活動の中心的役割を担っていただいていた3年生にかわって、今度は私たち2年生が頑張る古中の伝統を引き継いでいく番です。2年生の皆さん、5か月後には最上級生になるという自覚を持って、これから、互いに助け合い、高め合いながら生活していきましょう。



1学年代表 T・R さん

4月に古川中学校に入学してから、半年が過ぎました。1学期を振り返って、私たち1学年として良かった点がたくさんあります。例えば、廊下などですれ違った人には元気に挨拶をしたり、授業に集中して取り組んでいたりと、楽しく充実した学校生活を過ごしていた人が多かったことです。

また、授業時間と休み時間の切り替えが素早く、めりはりを付けて行動する人が多く見られました。7月に行われた体育祭でも、一人一人が個性を発揮し、クラスみんなで一致団結して競技に取り組むことができました。

一方で、反省点もいくつかあります。それは休憩時間に廊下に溜まってしゃべっていて廊下を塞いでしまうことや、3分前着席が徹底できていないことです。先生方から度々御指導を受けたことがありました。2学期は特に「時を守る」ことを意識して、声を掛け合いながら、教室に戻る雰囲気を作っていきたいと思います。1学期以上により良い学校生活を送ることができるよう積極的に行動していきたいと思っています。



生徒会代表 A・E さん

私たち第77代生徒会執行部が発足してから1年が経ちました。2年間に渡る私の生徒会執行部での活動は終わりを迎えます。その中でも、この1学期の生徒会行事などについて振り返ります。まずは、生徒総会についてです。今年度の生徒総会は、メディアから離れるためにはどうすればよいかということ全校生徒の皆さんに考えてもらいました。今回は、ここ2、3年と違い、全校生徒が体育館に集まって話し合いが行われました。たくさんの意見が出ましたが、私は物事を多角的に捉えるということ学びました。運動をしてメディアから離れるという意見がとても多かったのですが、話し合いの中で過度な運動は文化部の人にとってはきついことなのではないかという意見も出ました。物事を多角的に捉えることが、生徒会活動を運営するときには重要になるということを生徒総会で学びました。これから、高校や社会に出たときに、この経験を生かすことができればと思います。

次は、壮行式です。壮行式は、全校生徒で応援を行います。古中が一つになっていくことを感じました。選手として参加した中総体の壮行式では、その応援が励みになり、自分の力を出し切ることができました。今後も全校生徒の皆さんの力を合わせて、各部を応援するすばらしい会にしてほしいです。

最後に、生徒会執行部で私が身に付いたことについてです。1年生の委嘱集会では、全校生徒の前に立ち、とても緊張しました。ただ、今では程よい緊張感の中で話すことができています。これは古中の規模で生徒会執行部をしたからこそ、できたことだと感じています。私は古中の生徒会執行部になれて本当に良かったと感じています。古中で得たことを無駄にせず、これからの中学校生活や高校、そしてその先にある将来に活かしていきたいと思っています。

2学期からは新生徒会執行部が発足します。全校生徒のみなさんの協力なしでは活動は充実しません。全校生徒のみなさん、第78代生徒会執行部をよろしく願っています。

